

# 寺報

龍正寺

日なた 172号

甘い考えは

後の苦しみとなる

何事も

一歩一歩進む

日延



<令和 4年 9月>

宝龍会  
護持会

# 令和4年8月18日龍正寺初の唱題行



祖父江鳳紘上人の御指導により初の唱題行を行いました。

感動される方、涙される方がみえました。

浄化され、芯にはいるようなお題目を唱えることができ、新たな自分

やお題目を見つめ直し、お題目を唱えることができました。

感じ方人それぞれの唱題行でした。



在職一言 寿量品第16

171号の続き寿量品です。

『凡夫の顛倒せるを為て冥には左れども而も減すと言ふ、常に我を見るを以ての故に而も憍恣の心を生じ、放逸にして五欲に著し、悪道の中に墮ちなん我常に衆生の道を行せざるを知つて、度すべき所に随つて、為に種々の法を説く、毎に自ら是の念を作す、何を以てか衆生をして無上道に入り速かに仏身を成就することを得せしめんと。』

(解説)

凡夫の心は顛倒しているからこれを覚醒せしめるために仏がこの世を去って、いなくなるということを知らしめることも必要である。もし、いつでも仏にあえるものだと思つて仏の教存とそんなにありがたいと思つて、それが持つ心、自分勝平存心、まちばかりおこして、道を求める志がなくなるのみか、色声香味触等の五欲に執着して、地獄、餓鬼、畜生という悪道におちるのである。仏はいつでも衆生の道を行ずる者、道を行せざる者とはすなわち凡夫の生活をはなれて仏の道に、いりたいと思つる者、目前の事にのみとらわれ、ほんとうの道を歩もうとしない者、それをよく知つ

ているから相手の力に応じていろいろな教を与えるのである。  
夜毎日に心に思うことばいかにしたるば世の中の者が仏の  
道に入って速かに仏の身を完成させることができるであら  
うかと心をくだき努力しているのである。

以上寿量品第16 自我偈を27回に渡り書写いたしまた  
皆様に拜読していただき、懐せな心で毎日をお過ごし  
いただきければよいかと思います。

合 掌

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

## … 仕事での喜び …

週に一回、御利用者と一緒に環境整備をしています。御利用者が、よりよく生活しやすい様に室内を整えていくなかで、ホッリ、ホッリと…話しをさせていただきます。

奥さんが他界されて、10年間、全く掃除をした事が無い。どこに何か入っているのかさえも、全くわからない。困ったものだと苦笑される。現状、最少の物品で生活されている。

訪問の当初は、依頼されたものの、人に自宅内の物品をさわらせる事に強い抵抗もありました。

ひとつ、ひとつ物品を見るたびに家内の思い出がよみがえってくる。目をうるませて話されました。

じ、くりと時をかけて片づけて行きましようと話しかけると、ありがとうございますとほほえまれます。

御利用者の気持ちに寄りそいながら、奥さんとの思い出話も伺う。この時間が御利用者にとって楽しい時間になる様に仕事もしたいと思いました。

片づけが進むと、新品の肌着、服、タオル等…たくさん出てきました。

多分奥さんが購入されていた物の様でした。

「あーこんなに新しい物があったんですね！何も知らなかったんで…」

との言葉に、汚れ、取れのある肌着を交換すると、「またー、もったいないから…」と拒まれました。

奥様はきれいな肌着を身につけてほしいのではと伝えると、

今日は新しい物を着ましようか！と笑顔で着替えられました。

仏壇の前で「どうですか？」と奥さんの写真のに話しかけら

れました。写真の奥さんが優しい表情をされた様に思いました。

「ありがたうなー。」と手をあわせる御利用者の姿に、良い

御供養をされたと心が温かくなりました。仕事をしながら

ふステキな瞬間に出会えました。

～ 南無妙法蓮華経 ～

## 唱題行

先月法要後の唱題行に参加しました。

御題目を唱えている時の声のトーン・リズムが乱れてしまい雑念で無心になれない事がよくあります。

どのような姿勢で御題目を唱え、向きあえば良いか自問自答しなから悶々とする事もあります。

唱題行直前、緊張のせいでしょうか、数珠を持つ手がふるえました。今までにない経験でした。

祖父江鳳紘上人の御指導を受けて「唱題行」の冊子を開きます。①礼拝 ②淨心行 心がゆっくりと呼吸をすると共に穏やかに落ち着いていく。③正信行 木証の音にあわせて、初めはゆっくりと徐々にテンポが早くなり、そしてゆっくりと朗々とお題目を唱えます。南無妙法蓮華經…南無妙法蓮華經…。大きな暖かい物に体全体が包まれている様な気持ちになりました。④深信行 さわやかな異空間。そこは、大自然の中で大きく深呼吸をしているような、全てが新鮮に感じる事が出来ました。⑤祈願行、唱題の功德、誓願行 ⑥礼拝。終わった時 涙があふれていました。

とてもさあやかな爽快感でした。

初めての体験ばかりでした。唱題行中、感極まって涙声でお題目を唱えている方も...

唱題の大切さ、そしてたしかに功德を感じる事が出来ました。

参加者皆さんで感想を語り、是非また唱題行に参加したいと強く思いました。

チャンスがあれば、皆様も参加してみませんか。

心も体もリフレッシュ

南無妙法蓮華經



# 「唱題行」

あつ、あつ、猛暑つづきの夏も何事もなく過ごせましたことも一重にお題目のおかげさまでございましてよろこびの御礼と申します

虫の鳴き声もきこえて参りました  
フスマスも咲いてくれます

日暮れも早くなって参りました...

こうした秋の訪れを肌で心で感じられることが幸せではないでしょうか...

健康でぶじのご守護を載っております

今の今のよろこびでございます

8月に唱題行を学びました。

姿性を正し始まりました

はじめはゆっくりとお題目を唱えはじめます

ゆっくりとおちついて... ゆっくり ゆっくり... ゆっくりと...

お題目の有りがたさが身にしみます

ゆっくりの中に何かを感じます

胞がいはいになり涙がこみあげて参りました

60兆の細胞に有りがたさが流れしみ渡  
ってゆきます だから有りがたさの涙なのでしょうか

そしてただんと唱える速度が早くなって  
ゆきます 信徒さんの心が1つになり

お題目の尊いお声が響き渡ります

なんて有りがたいんだらうと流れる涙を

ハンケチで押えます 涙声でお題目を唱え  
ます こんなにも良き事のご縁が有りがたく

存じます 座禅の行は静かに座り

内観を致すようです 自分の心の内が見えて

くると涙で胞が篤くなります 反省の

座禅とも学びました…

良きことも悪きことも細胞が覚えている

ようです 細胞は神と学びます

自分の心に「一掌一字」を持つことを学びました

わたくしも81才となりまして身体はつても弱く  
なりヨタフラ(ヨタフラとはよろよろふらふらのことだと思います)  
の風々ではございますが この頃...何かVは  
元気になって来たかのように思えます...

一重に学びのおかげさまお題目のおかげさま  
よりではないでしょうか...何かうれしいです  
よろこびの笑顔の中で幸せを思ひます

ご近所ごと 元気やねえ...あなたの笑顔より  
わたしも元気もらうわやえーとゆって下さって  
又笑います 先日も長く続いています4人組で  
お茶タイムを楽しみました!!

その折に日蓮宗の尊いいのちに合掌のしおりを  
お渡し致し信仰の有りかたさのお話しお題目の  
ことなどお話し致しました いろんなことがあって  
大変な時代というか なんだかわたし達では何もわからず  
心がゆれり 心配もつもの中ですが 今一/日家族が  
ぶじで過ごさせてもらえたことによるにびましよう  
として一日一日を大事に致し丁寧に暮らさせて

もらいましょう よろこびましょうとお話しを  
させていただきました…

今日は夫のしかたわあーありがとうと話して  
涼しくなった夕景時に別れました  
まだまだ修養の足りないばかりのわたくして  
ございませうが これからも学びの有りかたさと  
積み重ねさせて載せたく存じます

すべての良き運びごとは妙法蓮華經の  
おかげさまと有りかたく御礼を申し上げます  
ありがとうございませう

おすこやかに

秋の日々をお過ごし下さいます

合掌

## < 9月行事予定 >

9月13日(火) 10:00~

宗祖日蓮大聖人報恩会  
鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈禱会  
龍口法難会  
大古久尊天祈願会

23日

13:00~

秋季彼岸中日法要会

## < 9月住職の予定 >

寺院 = 3 法務

## < 9月の予定 >

9月6日(火)

各々の時間で

清掃、準備

↓

12日(日)

↓

↓

13日(火)

法要後

片付け、準備

14日(水)

各々の時間で

清掃、準備

↓

22日(木)

↓

↓